

## 決定！ シンボルマーク



埼玉県久喜市栗橋B&G海洋センター  
指導者会の松田喜和さんの作品です。  
作品コンセプト  
青い海のもと、われわれ指導者の原点  
である、スイム・カヌー・ヨットを通じ、  
絆を深めあった仲間が日本全国で活  
躍するイメージ

## 水辺の安全教室アラカルト

今回は、全国10ブロックで今年度開  
催された「水辺の安全教室」を紹介し  
ます。  
この情報は、主にB&G特派員の方  
が足を運び取材した記事をまとめた  
ものです。  
イベントとのコラボレーションや新  
しい取組などをご紹介します。

## 北海道ブロック

北海道ブロック特派員 森下高  
「マリンスポーツフェスティバル2  
012 in 滝川」より抜粋

海の無いはずの北海道滝川市の海洋  
センターで、「マリンスポーツフェス  
ティバル」が開催されました。  
内容は、カヌー・ローボートから水  
上バイクの試乗までを行い、海洋性ス  
ポーツを手軽に体験できる事業です。  
「水の安全教室」は、紙芝居を行いま  
した。7月〜8月の川での事故が多く  
あることや、ライフジャケットには、



鈴木氏による救助法のデモンストラ  
ーションを披露。大人も子供もこの

- 1 浮く、
- 2 保温、
- 3 衝撃か  
ら身を守  
る効果が  
あること、  
バディシ  
ステムに  
ついて話  
しました。  
続いて、  
アドバン  
スト・イン  
ストラク  
ターの特

時ばかりは固唾を呑んで見守りまし  
た。

また、陸上では、芝生に置かれた輪  
を溺者に見立て、救助用のペットボト  
ルを投げ入れ得点を競う競技も行い  
ました。ペットボトルごとに違う水量  
が入ってくることに気付くと高得点  
が出始めました。海洋センター職員だ  
けでなく、海洋クラブの関係者も集ま  
って事業を盛り立てているところが  
印象的でした。

## 東北ブロック

「レベルアップ研修会「着衣泳」を青森県  
南部町名川B&G海洋センターで開催  
しました。

青森県育成士部会が主になって各  
センターに出席を依頼し、県内外から  
総勢16名の指導者が参加しました。  
講師は日本大学文理学部教授で水  
難学会着衣泳指導員の野口智博氏。



午前中は「溺水の定義」や、「溺水のシミュレーション」を動画で学習し、午後には着衣泳の実技を行いました。初めは浮き沈みの練習、背うきなど基本となる練習を行い、浮き身呼吸法など徐々にレベルをあげて実技を行いました。最後には、背中から水中に転落した時にどのようなように浮かぶことが出来るか、また、ペットボトルを救助者の

どの部位に投げ込むことが有効であるのかを体験しました。

受講者からは、「とても分かりやすく指導する際にどのようなすればよいか考えながら受講することができた」などの感想がよせられました。

## 関東ブロック

関東ブロック特派員 近藤隆博  
「総合型地域スポーツクラブカヌー体験&水辺の安全教室開催」より抜粋

栃木県下野市大松山運動公園プールにて指導者会により市内総合型地域スポーツクラブの子どもを対象にカヌー体験&水辺の安全教室を開催しました。  
この事業は、水辺で楽しく活動する



ため知識を得るために親子で参加を促しています。カヌーは、流水プールで実施した親子体験から始めていきます。水辺の安全教室は、プールで実施し、メニューは、紙芝居や着衣泳、ペットボトル浮遊体験、ペットボトルでの模擬救助、ライフジャケット浮遊体験、着衣泳と盛りだくさんの内容で行いました。保護者からは、「安全教室がとてもためになった。」と感想をいただきました。



阿賀町三川 B & G 海洋センター艇庫で、新潟県 B & G 地域海洋センター主催のスポーツ交流会（水上の部）が開催されました。

県内の海洋センター・クラブから 38 名の参加があり、カヌーやドラゴンボート、モーターボート遊覧などを体験しました。

北陸ブロック特派員 山田智生  
「平成 24 年度新潟県 B & G スポーツ交流会（水上の部）開催」より抜粋

## 北陸ブロック

今回は、指導者会へ依頼し実施できました。参加したお父さんお母さんは、みんなよい勉強になったと言ってくれます。水辺の安全教室は、楽しい水辺の活動への一歩です。これからも 1 人でも多くの皆さんに水辺の安全教室に参加してもらえよう呼びかけて行きたいと思えます。

この「スポーツ交流会」は海洋スポーツの振興及び県内海洋センター・クラブ相互の連帯と親睦を図ることを目的に開催されています。おり、県内各海洋センター・クラブから毎年大勢の参加者があがります。多くの親子が参加しています。



静岡県浜松市（カリアック及びボートクラブカナル）で、WSN「水辺の安全講習会」が開催されました。

この講習会には、ウオーターセーフティ・ニッポン・パートナー・サポーター・幹事団体の関係者ならびに「水の事故ゼロ運動」賛同者計 26 名が参加。海洋性レクリエーション活動に必要な知識や技術について、座学・実技講習が行われました。

中部ブロック特派員 河原崎貴広  
「平成 24 年度 WSN 水辺の安全講習会」抜粋

## 中部ブロック

& G 海洋センターの活動を知ってもらえる絶好の機会となっております。マリンスポーツと合わせて、水辺の安全教室を実施。実技指導では、阿賀町津川の遠藤指導員によるペットボートルを使用した浮き方の指導がありました。

参加者から「はじめてカヌーに乗ったけど楽しかった」「ドラゴンボートは面白い。また来年も参加したい。」という感想が寄せられました。

故事例についても講義を受けました。あいにくの雨模様でしたが、実技講習では、ボートの曳航やパーソナル

に起きました。2010 年に起きた浜名湖ボート転覆事故やその他実際に起きた事故例について、実技講習

滋賀県琵琶湖マイアミ浜付近において、甲賀市甲賀 B & G 海洋センター主催の「第 10 回カヌー体験教室」が開催されました。

この事業は、カヌー体験を通じて海洋性スポーツの楽しさを感じてもらおうと共に、海洋性レクリエーションやライフジャケット浮遊体験も取り入れ、水に対する様々な知識を身に付け今後活かしてもらおうと企画されたものです。会場である琵琶湖マイアミ浜付近には、野洲市中主 B & G 海洋センター艇庫があり、同センターとも協力して事業が展開されました。

近畿ブロック特派員 中野良博  
「甲賀市甲賀 B & G 海洋センター「第 10 回カヌー体験教室」より抜粋

## 近畿ブロック



ウオータークラブトによる救助等実技講習を実施しました。

また、曳航に際し、安定性のある乗船位置と危険性の高い乗船位置を実際に体験しました。

器材は、近畿ブロック地域海洋センター連絡協議会に借用依頼を出し、ウオーターセーフティ・ニッポンから安全器材として借用いただきました。ご覧のレスキューチューブやライフジャケット等を借用し本事業に活用させていただきました。

甲賀市甲賀 B & G 海洋センターには艇庫がないので、参加者のみなさん

## 中国ブロック

中国ブロック特派員 大越 利夫  
「長期宿泊体験活動カヌー体験」から抜粋



は、海洋性スポーツに大興奮。笑顔でカヌーを体験されていました。水辺の安全教室はレスキューチューブやニッポン・パートナーボードを使って行いました。

水辺のイータープリンターも実施されました。

広島県府中市 B & G 海洋センター艇庫で「長期宿泊体験活動カヌー体験」を行いました。これは、広島県府中市立上下南小学校の 5 年の 9 名が長期宿泊体験活動のプログラムの一環として実施しました。

初めに、みんなでカヌーを川まで運び、パドリングの陸上練習。担当は、府中センターの林さんが行いました。児童の中には水を怖がる子もいましたが、スタッフ自ら川に入り、丁寧に指導を行いました。

カヌー体験後は自然観察。川辺で虫を取ったり、魚を捕まえたりして遊びました。

「水辺の安全教室」では、ライフジャケットの浮遊体験と着衣泳を行いました。

今年初めてのプログラムでしたが、みんな楽しく体験してくれました。



長期宿泊体験活動は7月24日から4日間開催し、カヌー体験は26日という事で、初めは疲れ

た顔をしていた子どもたちもカヌーに乗って体験する中でたくさん笑顔を見せてくれました。

## 四国ブロック

四国ブロック特派員 浜岡 邦之  
「平成24年度四国ブロックマリンスポーツ交流大会」四国の力が愛媛県に集結」から抜粋



愛媛県今治市大三島で、四国ブロックマリンスポーツ交流大会が開催されました。この大会は四国内の海洋センター・クラブ員の相互交流、青少年

の健全な育成を目的に実施されているもので、今年は四国内から66名が参加しました。1日目は筏づくり



次は水辺の安全教室です。指導員によるデモンストレーションの後にはライフジャケット浮遊体験やレスキュー体験が行われ、みんな

真剣に取り組んでいました。夜には研修室で紙芝居のDVD上映もありました。2日目のレースに備え指導者による入念な打ち合わせが行われました。

すでにご存知のとおり四国ブロックは指導者会の設置が100%になりました。

2日目は、カヌーやOPヨットのレースを行いました。参加選手は日頃の練習の成果を発揮して白熱したレースを展開しました。

## 北九州ブロック

福岡県朝倉市甘木海洋センター 古賀博隆



平成24年度レベルアップ研修会開催 朝倉市甘木海洋センタープールで北九州ブロック地域海洋センター連絡協議会主催のレベルアップ研修会を開催しました。この研

修会には北九州ブロック管内の指導者の技術向上及び交流を目的とし開催

しました。当日は北九州ブロック管内指導者6名が参加し、溺者に掴まれたらどうなるのか。バディを組ませ、溺者・救助者に分かれ、溺者が救助者にしがみつき、その感覚をお互いに体験しました。

体験者は、床に足が着くプールであっても、溺者から逃れるのに必死でした。

次にレスキューチューブを使用した救助法を再確認し、養成研修等で行った救助法の復習を行いました。最後にヘッドキャリー・リヤキャリー救助法を行いました。

## 南九州ブロック

南九州ブロック特派員 工藤 陽平様  
「より確実な水辺の安全を目指して」平成24年度熊本県B&G地域海洋センター連絡協議会担当者実技研修会開催」より抜粋



宇城市三角B&G海洋センターを会場に熊本県連主催による「担当者実技研修会」を開催しました。この研修会は、担当者の技術維持とレベルアップを目的に実施しているもので、熊本県連では1年に1回、リーダー研修と実技研修会を交互に行っています。

実技研修会には、県内のセンターから16名が参加。水辺の安全知識習得やプールでの救助体験・水上でのカヌー実技を行いました。

今研修会には宇城市三角海洋センターの元担当である松下さんが講師として参加されました。

海洋センターでの具体的な事業例と、事業導入方について学んだあとは水辺の安全についての座学。水の事故



ゼロ運動の紙芝居をはじめ、松下さん手作りの水プロ・転プロ紙芝居で分かりやすく学ぶことができました。その他にも指導員教

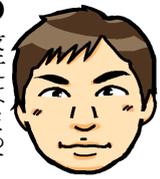
本を用いた学習を行い、現場で活躍する指導者にも良い再学習の機会となったのではないのでしょうか。

座学の後は、プールに移動して水泳補助の実技指導を実施。クロールや平泳ぎの補助法を確認し、溺者救助や沈没後復帰の要となる立ち泳ぎの練習も行いました。当日はウォーターセーフティ・ニッポンの器材を使用し、スローロープ体験も行いました。プール実技の締めには全力で泳ぎ、プールの学習は終了しました。

2日目は海レク実技を行いました。新担当の方の中には、カヌーの経験がほとんどない方もいらつしやいましたが、さすがの社会体育担当。あつという間に後方乗艇までクリアされました。終了際には、ほとんどの新担当者が今シーズンの指導リハーサルも兼ねて後方乗艇を成功させていました。

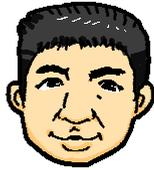
# B&G全国指導者会ブロック責任者紹介

前号に引き続きB&G全国指導者会のブロック責任者を紹介します。



北海道ブロック責任者  
丹場 康雄  
第5回AD

- 最近ハマっているもの?・・・料理・ラニング
- 最近やらかした失敗↓社会の窓がぁいていたこと。
- 座右の銘↓理由なき結果はない。
- 気になること↓お腹
- パワーの源↓遊ぶこと
- これからの夢↓プロ野球選手になること
- 自分を一言で表すと↓分からない



近畿ブロック責任者  
種継 武  
第16期AD AQ

- 最近ハマっているもの・・・中学2年の野球部の息子のおっかけと少年野球育成指導
- 最近感じている事・・・体力が落ちた事。回復が遅くなりました。涙もろくなりました。
- 座右の名・・・義理人情
- 気になること・・・年齢
- パワーの源は・・・子どもの成長
- これからの夢・・・船を買うこと



四国ブロック責任者  
三谷 一三夫  
第39期AD AQ

- 座右の銘・・・「ひとに優しく自分に厳しく」
- 40歳からはまっていること・・・トライアスロン(苦しいこと、辛いこと、痛いこと)大好き。つてドM?
- エネルギー源・・・小学1年生の孫と、タバコ!
- 来年の願い・・・中島B&Gミニバス教室の愛媛県制覇。
- 将来は・・・島でのんびりと魚釣ったり、家庭菜園したり自給自足生活!! みかんの地方発送届け負います。



北九州ブロック責任者  
進 友雄  
第16期AD AQ

- 家族構成・・・妻一人、子供3名、22歳女、21歳男、16歳女。現在は、二女と3人暮らし
- 最近ハマっているもの 100kmウォーキングの為にトレーニング...
- 最近の失敗・・・多すぎてかけない。アルツハイマーごみ。
- 座右の名・・・一生懸命
- 気になること・・・健康と子供の未来
- パワーの源・・・家族
- これからの夢・・・何事もなく退職すること。

## 全国指導者会

# よもやま話

古い水着と塩素には気を付けよう!

★かなり前のことですが、ある海洋センターでの笑える失敗例です。実施していた子どもたちの水泳教室で、いつものように指導にきてくれたOアクアインストラクター、沖繩の養成研修で使用していた競泳用(どうだ〜)パンツをはいてきましたが、さっそうとプールサイドにきて、他の指導員がOAQを見てびっくり! な、な、なんと、股間のOOがくつきり!! 若いお母さんたちもたくさんいる中、前を隠して更衣室に後戻りした次第です。プールの滅菌用塩素で水泳パンツが薄くなったのがわからなかったOAQ、他の指導員の笑い話として今も語り告がれています。皆さんも気をつけましょうね(笑)

## 熱風シリーズ by 宮城県連指導者会

「がんばれ! ニッポン!」被災地よりオリンピック選手に熱いエール

8月9日に登米市長沼ボート場で宮城県B&G海洋センター連絡協議会主催による2012B&Gマリンスポーツフェスティバルが開催されました。

当日、県内の指導者担当者は、「がんばれ! ニッポン!」を胸に参加児童130名の前に立った。ご存知のとおり、東日本大震災では、

全国から大きな支援をいただきました。今大会を前に担当者会議で、「応援



いたいた気持を「エール」を「エール」に協力して、恩返ししよう! の声に全員一致し、ユニフォームとして

着用することになった。はじめは、児童を囲むように後ろにいた指導者担当者。ユニフォームを着た2名が整列した瞬間から、一人増え二人増え、あつという間に指導者養成研修を思い出される一列横隊ができ、指導者が一つになれた気がしました。熱い風が会場に、子供たちに届いてほしいと感じた瞬間でした。

## B&G 全国指導者会 第2回総会 開催!

日時: 平成25年1月26日(土)  
場所: 笹川記念会館2F 国際会議場 (東京都港区三田3-12-12)

かつて苦楽をともにした仲間と近況報告! 多くの参加をお願いします!

編集後記・・・(担当 古崎 敏雄)

先日リーダー研修会を実施。今回は県内のセンターからも参加があり、全員後方乗艇ができるようになるなど、真剣に研修を受講してくれました。4日間の研修で一番の収穫は、新しく12名が指導者会の仲間入りをし、人的ネットワークができたことです。皆さんも、是非とも1月26日の全国指導者会総会に参加し、全国の仲間とネットワークを強固にしてほしいと思います。